

# 3年ぶりの大阪開催！劣化の基礎から応用まで

第242回ゴム技術シンポジウム

## ソフトマテリアルの劣化解析と対策

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 環境劣化研究分科会

協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本機械学会，日本接着学会，  
日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会，日本複合材料学会，  
プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会（順不同）

ソフトマテリアルは、インフラ、工業製品から、医療、レジャー、日用品に至る広範な用途で重要な役割を担っています。しかし、使用される環境や条件において、さまざまな劣化現象が現れます。劣化を抑制し耐久性や製品寿命を延ばすには、その原因を究明する必要があります。本シンポジウムでは劣化解析や分析手法を紹介するとともに、ゴム薬品による耐久性向上策を紹介いたします。講師は、各分野の第一人者であり、劣化の基礎から応用まで幅広い知識を習得する事ができます。

日時：2018年2月9日（金）9：50～17：00

場所：大阪科学技術センター・401号室（大阪市西区靱本町1-8-4）TEL 06-6443-5324

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員23,760円，日本ゴム協会学生会員5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員）会員外 32,400円

受講料には、消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

開催日までにお振込ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第242回ゴム技術シンポジウム係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03-3401-2957 FAX 03-3401-4143 E-mail：kenkyuubukai@srij.or.jp）

演 題（一部仮題目）	講 師・座 長
9：50～10：00 開会のあいさつ	環境劣化研究分科会主査 藤井 信彦 【座長】早稲田大学 伊藤 政幸
10：00～10：55 高分子の劣化解析の基礎	京都工芸繊維大学 坂井 互氏 プラスチックやゴムなど、高分子材料劣化のラジカル的な反応経路に関する基礎的な知見を解説する。
11：00～11：55 CNF強化ゴム材料の基礎と応用	兵庫県立工業技術センター 長谷 朝博氏 次世代のバイオマス素材として注目されているセルロースナノファイバー（CNF）の特徴について概説した後、CNF強化ゴム材料の作製方法や特性、スポンジゴムへの応用事例について紹介します。 【座長】（公財）鉄道総合技術研究所 伊藤 幹彌
12：50～13：45 熱分解分析法による高分子材料の劣化解析	名古屋工業大学 大谷 肇氏 熱分解分析法による各種高分子材料の劣化解析について、具体的な事例を紹介しながら概説する。
13：50～14：45 ソフトマテリアルの劣化現象の解析と分析	（株）東ソー分析センター 高取 永一氏 ソフトマテリアル特に合成樹脂材料に関し、実業上での劣化現象の解析・分析事例を用いて以下の点を口述する。すなわち、①解析分析のための試料の前処理、②視覚（各種顕微鏡）による観察、③分光学的手法、④分子量測定、⑤材料の劣化挙動の判定のために実施した力学的或いは粘弾性的解析について口述する。 【座長】デンカ（株） 藤井 信彦
14：50～15：45 高分子材料の劣化機構および安定化技術	（株）ADEKA 山下 賢治氏 高分子材料の劣化を抑制するための添加剤処方技術の紹介
15：50～16：45 忍びよるゴム・プラスチック製品の微生物劣化	（一財）化学物質評価研究機構 大武 義人氏 地球温暖化減少と微生物特有の馴養（Adaptation）が相乗して本来生じることがなかったプラスチック（PE）や加硫ゴムに微生物劣化を生じさせている。これらの現象と対策について述べる。
16：50～ 閉会のあいさつ	環境劣化研究分科会副主査 伊藤 幹彌

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします。